

温泉利用暖房使用家庭のご感想 <その3>

【大和 小林さん宅 自作温泉利用暖房】

◆使っていないお湯がもったいない◆

もともと父がホースを巻いてコタツ熱源に利用していました。使っていない分のお湯がもったいないので、暖房に利用することを思いつき、自分で作成を始めました。

◆自作温泉利用暖房◆

温泉タンクの下に別のタンクを設置し、余ったお湯を貯めています（貯湯タンク写真）。そこで熱交換器によって暖めた温水を 2 階のリビングまで送り、温風が出るようになっていきます（暖房器写真）。この冬が 3 シーズン目になります。すべて自分で作りましたので、中古品などをうまく利用し、材料費は 7～8 万円ほどでした。

それ以前に脱衣場へも暖房を自作しましたが、その際に配管はステンレス管を使用したところ、すぐにだめになってしまったので、銅管にしたら調子が良いことがわかったので、銅管を使用して作成しました。この銅管が少し高かったです。



（玄関前温泉タンク。下に貯湯タンク）

（貯湯タンク。中に熱交換器を設置）



(2階への配管)

暖めた循環水が暖房へ



(2階リビングの暖房器 54×14×40cm)

◆暖房コスト削減◆

この温泉利用暖房のおかげで同じ部屋にある灯油を利用した同様の仕組みの暖房は真冬に使うだけになり、灯油代は半分ほどになりました。また、温泉利用暖房は燃料を気にしたり、補充したりがなくて良いです。

◆暖かい部屋◆

2階のリビングは3階への階段がありますが、温泉暖房を24時間稼働しているため、朝も20℃くらいになっておりとても助かります。起きてきた時に寒くないのはとても良いです。洗濯物もよくそばで乾かしています。

◆使用状況◆

温泉はお風呂以外に洗濯にも使っていますが、温泉利用暖房になるべくお湯を利用するため、お風呂へのお湯はセーブしています。温度センサーを取り付け管理することで（これも自作です）、お風呂で使いすぎないようにしています。脱衣場にも暖房を利用していますが（下記写真）、冬は温泉をフル活用していて、1升を有効に使っていると思っています。



(1階廊下)



(脱衣場)